

## 佐賀・長崎支部総会の報告について

支部長 吉田 幹英

令和3年度の第一薬科大学佐賀支部総会は、長崎支部との合同で、佐賀・長崎支部総会として、令和3年8月1日に佐賀市のアパホテル佐賀駅南で開催されました。

本年の出席者数は、保護者、学生を併せて8名の出席でしたが、これは、昨年の支部総会の出席者数に比べて、かなり減少していました。減少の原因としては、新型コロナウイルスの影響によるものと思われました。

支部総会では、支部長から令和2年度の佐賀支部の活動状況の報告、資料に基づき令和2年度の会計報告を行い、了承されました。

支部総会の終了後には、第一薬科大学薬学部の小松教授、看護学部の長家教授から各学部の状況についての報告が行われ、薬学ゼミナール福岡校の松本先生からは、「薬剤師国家試験合格に向けて」と題した講演をしていただきました。

### 1. 薬学部小松教授からの薬学部の状況について

昨年度は、大学への登校もできない時期もあり、オンラインによる講義、実習が行われたが、後期には新型コロナウイルスの感染状況も収まったので、分散登校を開始し、対面講義、オンライン講義をハイブリッド型で実施した。

新型コロナウイルスの影響による学習の遅れによるものか、進級率の低下や4年生のCBT（シービーティ；Computer-Based Testing）の合格率の低下、6年生の国家試験の合格率の低下がみられた。今後は、みんなで切磋琢磨して、少人数での補修学習やWeb問題集を活用した演習や自主学習を行い、毎日の学習習慣を身につけ、学力の向上を図っていきたい。

### 2. 長家教授から看護学部の状況について

看護学部は、開学して約1年半が経った。本学では、薬科大学だからできる薬物療法に強い看護教育ができ、薬物療法に関する関連科目は他の大学の約3倍ある。また、きめ細やかな学習支援として、アドバイザーと担任の二重体制で学習状況を把握している。

看護学部も新型コロナ対策は徹底しており、家庭で第1スクリーニングとして健康項目の入力、登校時には第2スクリーニングとして健康チェックや手指消毒を行っている。コロナ対策を徹底し、全員卒業、国家試験の全員合格を目指していきます。

### 3. 薬学ゼミナールから

薬学ゼミナール福岡教室の松本先生から、「薬剤師国家試験合格に向けて」の講演がありました。薬剤師国家試験は、2日間と長い時間で行われるので、頭と体力が必要である。

低学年時からの学習が重要であり、学習習慣を身につけること。5年生の実務実習では、8疾患についての経験が重要であること等が報告されました。



図1 薬学部 小松教授



図2 看護学部 長家教授